

DOM (Document Object Model) でよく使うものを抜粋

Node インターフェース (ドキュメント、要素、テキストノード共通)

プロパティ

attributes	属性のコレクション。NamedNodeMap 型
childNodes	子ノードのリスト。NodeList 型
firstChild	最初の子ノード、もしくは子ノードがなければ null
lastChild	末尾の子ノード、もしくは子ノードがなければ null
nextSibling	兄弟ノードのリストの中で次のノード。末尾の場合は null
previousSibling	兄弟ノードのリストの中で一つ前のノード。先頭の場合は null
parentNode	ノードの DOM ツリー内の親ノード
parentElement	DOM ノード上の親の Element。親ノードが存在しない場合や親ノードが DOM Element で無い場合は null
textContent	そのノードおよびすべての子孫ノードの全テキスト内容。ノードが document のときは null

メソッド

appendChild(child)
ノードの末尾の子ノードとして指定されたノードを追加します。追加された子ノードへの参照が返されます。
insertBefore(newElement, referenceElement)
指定のノード newElement を現在のノードの子ノードとして参照要素 referenceElement の前に挿入します。referenceElement が null の場合、newElement は子ノードのリストの末尾に挿入されます。挿入された子ノードへの参照が返されます。
removeChild(child)
DOM から子ノードを取り除きます。取り除かれた子ノードへの参照が返されます。
replaceChild(newChild, oldChild)
指定ノードの子ノード oldChild を別のノード newChild に置き換えます。置き換えられた子ノードへの参照が返されます。
hasChildNodes()
現在のノードが子ノードを持てば true、持たなければ false が返されます。

Element インターフェース (要素)

プロパティ

classList	class 属性のリストを持つ DOMTokenList。読み取り専用 add で追加・remove で削除・toggle でトグル
className	要素の class 属性値。文字列
id	要素の id 属性値。文字列
innerHTML	子孫要素を記述する HTML 構文を表す文字列
childElementCount	子要素の数
children	子要素のリスト。HTMLCollection 型
firstElementChild	最初の子要素。Element 型。子要素がなければ null
lastElementChild	末尾の子要素。Element 型。子要素がなければ null
nextElementSibling	兄弟要素のリストの中で次のノード。末尾の場合は null
previousElementSibling	兄弟要素のリストの中で一つ前のノード。先頭の場合は null

メソッド

getElementsByClassName(cname)
現在の要素の子孫要素から、指定されたクラス属性 cname を持つ要素のリストである HTMLCollection を返します。
getElementsByTagName(tag)
現在の要素の子孫要素から、指定されたタグ名 tag を持つすべての要素のリストである HTMLCollection を返します。
insertAdjacentHTML(position, text)
パラメータ text を HTML または XML として解釈して得られる文書断片を、要素に対してパラメータ position で指定された隣接位置に挿入する。 position は'beforebegin' (要素の直前)、'afterbegin' (内部の最初の子要素の前)、'beforeend' (内部の最後の子要素の後)、'afterend' (要素の直後) のうちのどれか。
querySelector(selector)
子孫要素の中で、指定した CSS セレクタ selector にマッチする最初の要素ノードを返します。
querySelectorAll(selector)
子孫要素の中で、指定した CSS セレクタ selector にマッチするすべての要素のリスト HTMLCollection を返します。

ParentNode インターフェース（ドキュメント、要素共通）

プロパティ

children	子要素のリスト。HTMLCollection 型。読み取り専用
firstElementChild	最初の子要素。読み取り専用
lastElementChild	最後の子要素。読み取り専用
childElementCount	子要素の個数。読み取り専用

EventTarget インターフェース（ドキュメント、要素共通）

メソッド

addEventListener(type, listener [, useCapture])
指定されたタイプ <code>type</code> のイベントリスナー <code>listener</code> を 1 つ登録する。 <code>useCapture</code> が <code>true</code> の場合、キャプチャフェーズでのイベント捕獲を有効にする。 省略時は <code>useCapture</code> は <code>false</code> と見なされる。
removeEventListener(type, listener [, useCapture])
指定したイベントリスナーを削除する。

Document インターフェース（ドキュメント）

プロパティ

documentElement	ルートの <code>html</code> 要素の参照
body	<code>body</code> 要素の参照

メソッド

createDocumentFragment()
新しいドキュメント断片を生成し返します。
createElement(tagName)
指定したタグ名 <code>tagName</code> で新しい要素を生成し返します。
createTextNode()
テキストノードを生成し返します。
getElementById(id)
指定された ID 属性値 <code>id</code> を持つ要素の参照を返します。
以下は Element と共通
getElementsByClassName(cname)
指定されたクラス属性 <code>cname</code> を持つドキュメント内の要素のリストを返します。
getElementsByTagName(tag)

指定されたタグ名 tag を持つドキュメント内の要素のリストを返します。
querySelector(selector)
指定した CSS セレクタ selector にマッチする、ドキュメント内で最初の要素ノードを返します。
querySelectorAll(String selector)
指定した CSS セレクタ selector にマッチする、ドキュメント内のすべての要素ノードのリストを返します。

HTMLElement インターフェース（要素）

プロパティ

style	要素のインライン style 属性で設定された CSS の「プロパティ - 値」を任意個保持する CSSStyleDeclaration オブジェクト
--------------	--